

第10回 小郡・大刀洗地域防災訓練プログラム (第5案)

実施日 令和元年9月8日(日) 9時30分から
場 所 小郡市運動公園「多目的広場」(小郡市大保444)

No	訓練種目	訓練時間	訓練内容	訓練実施機関	訓練参加器材
	集合待機 ⇒ 訓練開始	9:25 9:30	◎登壇者 小郡市長「訓練開始報告」(代表者:三井消防署長) (想定)令和元年9月8日(日) (1) 震度6強の地震(警固断層南西部)が発生し、小郡市及び大刀洗町では民家が倒壊するなど、多数の負傷者等が出ている。 (2) 地震発生後に福岡県全域に大雨・洪水警報が発令され、小郡市及び大刀洗町では局地的な大雨により管内数カ所で床上浸水等の被害が発生している。		
1	シェイクアウト訓練	9:30 ～ 9:35	来賓者を含め全員で一斉に安全確保行動をとり、地震災害への意識を高める。	全員参加	
2	災害対策本部運営訓練	9:30 ～ 11:30	【情報収集～災害対応訓練】 ・災害対策本部の情報収集(通信)、情報共有(地図、プロジェクター等)体制を構築する。 ・各機関、市民等からの被害情報等の収集を行う。 ←「陸上・航空偵察訓練」との連携、状況付与 ・入手した被害情報の標示⇒分析⇒判断⇒指示を逐次行う。 ・関係機関等への要請等を行う。	小郡市役所、大刀洗町役場 小郡市、大刀洗町消防団 自衛隊小郡駐屯地 小郡警察署 三井消防署	テント 地図、長机、椅子 パソコン、ビデオ プロジェクター スクリーン 各種無線機 放送設備
3	陸上偵察・広報訓練	9:35 ～ 9:50	・会場を巡回しつつ、逐次、被害情報を災対本部等に報告する。 ・住民に対する避難情報等の巡回広報活動等を行う。	小郡市、大刀洗町消防団 自衛隊小郡駐屯地 小郡警察署 小郡市役所、大刀洗町役場	消防団車両 小型車 パトカー(白バイ) 広報車
4	航空偵察・広報訓練	9:40 ～ 9:50	・ヘリコプターの航空偵察により、被害情報を災対本部に報告する。 ・ヘリコプターから避難等に関する広報活動を行う。	福岡県警ヘリ隊	ヘリコプター
5	倒壊家屋救出訓練	9:40 ～ 11:00	・模擬倒壊家屋×3を使用した自主防災組織と消防団による救出・搬出訓練、 (AED使用訓練) ・模擬倒壊家屋を使用した三井消防署と自衛隊初動小隊との共同による救出訓練	自主防災組織 小郡市、大刀洗町消防団 自衛隊小郡駐屯地 小郡警察署 三井消防署	消防団車両 人命救助システム パトカー 救助工作車
6	医療救護訓練	9:40 ～ 11:00	・応急救護所(エアテント)を設置する。 ・「倒壊家屋救出訓練」と連携した応急救護、トリアージへの対応等を行う。 ・自主防災組織へのAED等の救命手当訓練	小郡三井医師会 小郡市、大刀洗町消防団 自主防災組織	
7	通行障害排除訓練	9:45 ～ 10:00	・陸上偵察により発見した通行障害をバケットローダ等の器材により排除して被災地への経路を啓開する。	自衛隊小郡駐屯地 小郡市建設業協会 小郡市環境保全協議会	バケットローダ ダンプ ユンボ ダンプ
8	避難所運営訓練	10:00 ～ 11:30	・市役所、町役場職員により避難所を開設し、自主防災組織を主体とした避難所運営訓練を行う。 ・医師会による避難者の健康チェックを行う。	小郡市役所、大刀洗町役場 自主防災組織 小郡三井医師会	
9	ライフライン復旧訓練	10:00 ～ 11:30	・災対本部からの要請により前進して、電力復旧及び通信手段の確保訓練を行う。	九州電力甘木配電事業所 NTT西日本福岡支店	低電圧発電機車等 移動無線車等
10	応急給水訓練	10:10 ～ 11:00	・「避難所運営訓練」と連携した避難所への給水を行う。 ・給水車から生活水の簡易水槽への給水を行う。	三井水道企業団 自主防災組織	水タンク車等 携行飲料水袋
11	災害ボランティアセンター設置訓練	10:20 ～ 11:30	災対本部と連携し、避難所の開設等の状況を判断してボランティアセンターを開設し、ボランティアの受け入れを開始する。	小郡市社会福祉協議会 大刀洗町社会福祉協議会 三井・小郡地区防災協会 みい農業協同組合 みい青年会議所 おごおり女性協議会 小郡市健康を守る母の会 大刀洗町女性の会 大刀洗町生活改善推進協議会 三井高等学校	
12	水害孤立者救助訓練	10:50 ～ 11:05	・内水氾濫により孤立した住民の救助をボートにより行う。 (リヤカー等にボートを載せて会場内で模擬)	小郡市消防団 幼稚園児等	ボート×2 コンバイントラ×2
13	水防訓練	11:00 ～ 11:30	『地震後の局地的大雨により、河川の急激な増水に伴う越水が発生した。』 ・消防団による土のう搬送、積土のう工法等による越水等防止訓練を行う。 ・「通行障害排除訓練」で積載した土砂を土のうの作成用使用する。	小郡市、大刀洗町消防団 自衛隊小郡駐屯地 小郡市建設業協会 小郡市環境保全協議会	消防団車両 ダンプ ダンプ×3
14	炊出し、給食訓練	9:30 ～ 11:30	・小郡市消防団の炊事セットを使用して炊出し訓練を行う。 ・住民(ボランティア含む。)によるおにぎりの作成、避難所等への搬送を行う。	小郡市消防団 小郡市健康を守る母の会 おごおり女性協議会 大刀洗町女性の会 大刀洗町食生活改善推進協議会 三井高等学校	炊事セット
15	閉会式	11:30 ～	◎登壇者 大刀洗町長「訓練終了報告」(代表者:小郡市消防団長) ・開催地代表者挨拶(小郡市長) ・来賓あいさつ(地元選出県議会議員、小郡市議会議員) ・訓練講評(久留米広域消防本部消防長)		
	その他	9:20 ～ 11:30	○会場内に地震体験車を配置して、住民体験コーナーを設置する。 ○ブース地区を設け、器材・車両の展示(説明)、備蓄品の一部の紹介・配布を行う。 ○初期消火体験コーナーを設け、見学者や自主防災組織に体験させる。		

No. 6 医療救護訓練 9:40～11:00 (80 分間)

1 訓練概要

応急救護テント（事前設営）内において、倒壊家屋救出訓練（訓練 5）で救出搬送されてきた傷病者の診察、処置及びトリアージを実施する。また、倒壊家屋救出訓練参加者（自主防の市民）及び防災訓練参加者へ救命処置（心肺蘇生法）の指導を実施する。 防災訓練

2 訓練項目

① 医療救護所

- ・「倒壊家屋救出訓練」で搬入された傷病者の処置及びトリアージを実施
搬入された傷病者の状態に応じた診察、処置及びトリアージを行う。
負傷箇所については、各負傷者に記載
- ・「倒壊家屋救出訓練」における死傷者数の把握と対策本部への情報提供

② 救命処置（心肺蘇生法）指導

- ・訓練参加者に心肺蘇生法及び AED 取扱の指導を行う。

3 参加機関・人員

運営団体			人員	車両
医療救護所 (エアテント)	小郡三井医師会	医師 5、看護師 5		
救命処置 (心肺蘇生法)	小郡市消防団・女性団員	応急手当指導員 ・普及員		
	大刀洗町消防団・女性消防団	応急手当普及員		
	嶋田病院	応急手当普及員		
	神代病院	応急手当普及員		
計				

※ 小郡三井医師会、嶋田病院、神代病院の医師及び看護師は、訓練開始後に各車両に乗り込み出場し、医療救護所付近に車を止め活動を開始する。

4 人員配置

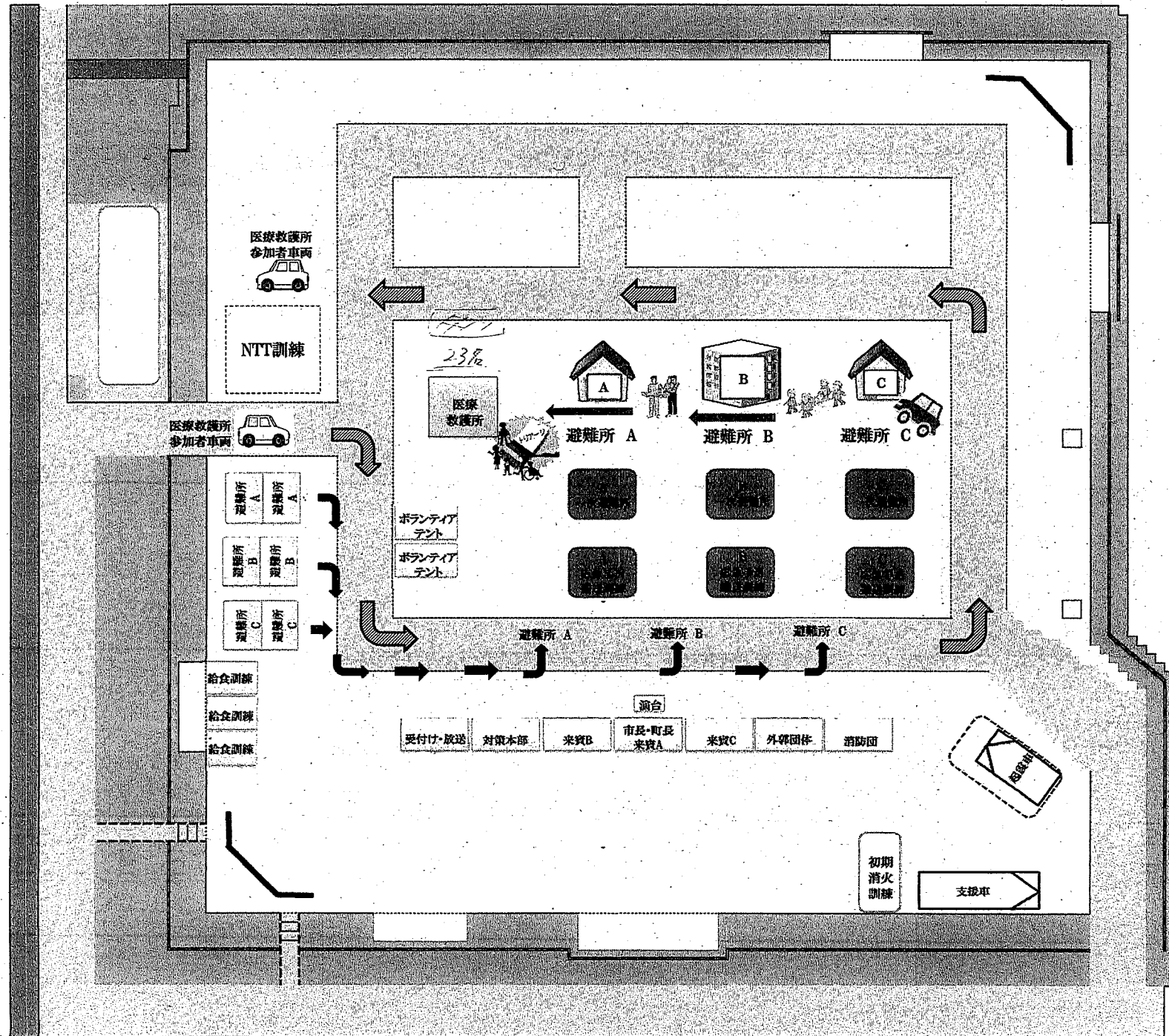
① 医療救護所（エアテント内）

小郡三井医師会 （医師及び看護師）

三井消防署 署員 … 2 名

※ 避難所からの健康チェックの依頼があった場合には、医師及び看護師は避難所へ出向し診察を行う。

⑥医療救護訓練



緊急車両
1区
7コン
NTT訓練
医療救護所
参加者車両